

江戸川区葛西駅前 機械式地下立体駐輪場

施設管理者 : 江戸川区役所
施設所在地 : 東京都江戸川区
調査見学時期 : 平成 21 年 7 月 15 日

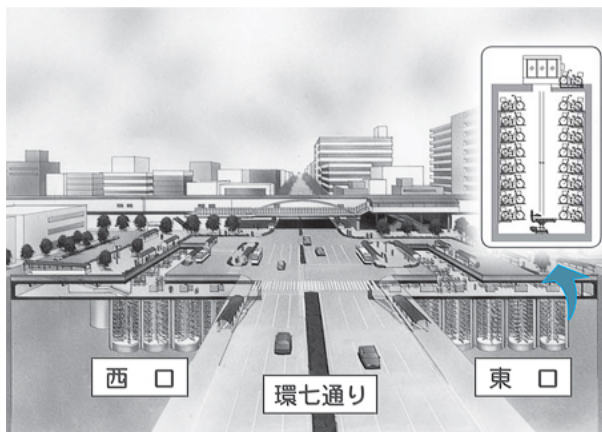
施設概要

江戸川区葛西駅周辺は、急激な人口増加に伴って違法駐輪にあふれ、深刻な社会問題となり、江戸川区は都市空間にマッチし、利便性に優れた地下駐輪場建設が急務として、国土交通省、東京都より補助金を確保し、総合評価方式により平成 17 年 10 月に公募を開始し、設計施工者を決めた後、総事業費 66.4 億円の地下空間を利用した「機械式地下立体駐輪場」を完成させ、平成 20 年 4 月 1 日より営業を開始しました。

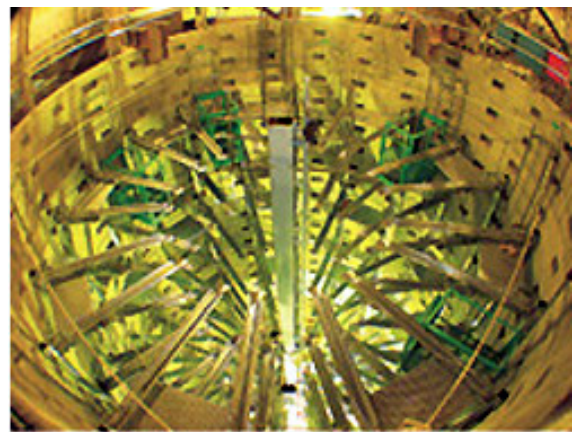
この施設は日本最大規模を誇る地下駐輪場で、自転車 9400 台の収納能力があり、IT 技術を活用した機械式駐輪場と IC タグシステムの組み合わせにより、簡便でスピーディーな操作を実現しました。また、安全性を確保する設備配置をはかった他、安全性についても十分な配慮をはかりました。これによって通勤、通学時間帯の利用者の集中にも十分な対応が出来るようになり、この施設を利用することによって放置自転車は激減し、町の景観美化にも大きく貢献しました。

方法は、アーバンリング工法（分割組立土留壁）が採用され、耐震性、止水性を確保し、地盤改良することなく、掘削底面の安定性、安全性を確保して、迅速な施工を実現し、従来工法より工期は半分となりました。

江戸川区は、「機械式地下立体駐輪場」を安全性、利便性、景観に配慮した優れた施設と評価され、平成 20 年度土木学会「技術賞」を受賞しました。また、全国の自治体からも大きく注目され、同型施設の駐輪場建設計画が進んでおります。



葛西駅地下駐輪場(全体図)
(江戸川区役所 HP より転載)



地下駐輪場格納内部
(JFE エンジニアリング㈱HP より転載)